

1. 大会名 2019年度 全日本ミックスチーム射撃選手権大会 (10mAR/AP)
2. 主催 公益社団法人 日本ライフル射撃協会
3. 主管 静岡県ライフル射撃協会
4. 期 日 2020年 2月 15日 (土) 第1日  
16日 (日) 第2日
5. 会 場 瀬戸ノ谷屋内競技場「スポーツパル高根の郷」  
〒426-0131 静岡県藤枝市瀬戸ノ谷 10258  
TEL 054-631-1100 FAX 054-631-1102
6. 表彰式は各ファイナル終了後に射座で行う。
7. 競技日程・種目

日 程	競技種目	競技時間	※出場人数	備 考
2月15日 (土)	AR MIX①(本選第1パート)	09:00~9:30	36チーム以内	
	AR MIX②(本選第1パート)	10:00~10:30		
	AR MIX③(本選第1パート)	11:00~11:30		
	AR MIX (本選第2パート)	12:00~12:20	上位8チーム	
	テストイベント	13:30~14:00		集合時間 13:00
	ブロンズメダルマッチ	14:30~		集合時間 14:00
	ゴールド・シルバーメダルマッチ			
2月16日 (日)	AP MIX①(本選第1パート)	10:00~10:30	36チーム以内	
	AP MIX②(本選第1パート)	11:00~11:30		
	AP MIX (本選第2パート)	12:00~12:20	上位8チーム	
	テストイベント	13:30~14:00		集合時間 13:00
	ブロンズメダルマッチ	14:30~		集合時間 14:00
	ゴールド・シルバーメダルマッチ			

※競技開始時間は前の射群の終了時間によって繰り上がることがあるので、ご注意ください。

※当該競技参加選手は競技開始30分前には射場に集合の事。

8. ※両日ファイナルのテストイベントを開催します。チーム9位以下の中から希望チームを抽選で選抜します。エントリーは当日行います。なお、テストイベントの結果は順位には影響ありません。(参加費無料)
9. 競技方法 男女チームイベント
10. 競技規則 ライフル射撃競技・規則集最新版による  
用具検査は各自事前にチェックできるよう器材を設置する。
11. 使用標的 10m種目 電子標的
12. 参加資格 (1) (公社) 日本ライフル射撃協会の会員であること。  
(2) チームは所属等の制限はありません。男女各1名にて1チームとします。
14. 参加制限 応募チームが多い場合は、チーム選手男女2名が保有している段を合算し、その数が多いチームを優先します。  
ただしジュニア (U21) は3段を5段 (4段は6段以降同様) に読み替えて合算します。
15. 表 彰 各種目とも1位 優勝カップ・賞状・メダル、2位~3位 賞状・メダル  
4位~8位 賞状

## 16. 参加料

10mAR チーム	10,000円
10mAP チーム	10,000円

## 17. 参加申込

(1)参加希望者はチームごと（所属で複数チームある場合はまとめても可）に、2020年1月21日（月）必着で申し込むこと。  
 申込者の参加の可否は、静岡県ライフル射撃協会のHPに1月28日までに掲載します。  
 (2)申込方法

## ①参加種目

## ②チーム名：チーム名設定の原則

イ) 企業や学校・都道府県などの所属がある場合は、所属名とする。

ロ) 混成チームであれば、個人名とする。

〇〇&△△チーム（男女の順番は自由）

③氏名（ふりかな必須）、④段級 ⑤日ラ会員ID、⑥所属、を添え、下記宛にExcelにまとめたものをE-mailに添付して申し込むこと。

(3)申込先：静岡県ライフル射撃協会 事務局 武嶋 宛

E-mail=静岡県ライフル射撃協会HP上の事務局 宛 使用

(4)振込先： 現金書留の場合 〒417-0051 静岡県富士市吉原1-1-20 武嶋 茂 方

静岡県ライフル射撃協会

振込みの場合 静岡銀行 吉原支店 普通 0733428

静岡県ライフル射撃協会 武嶋 茂

※参加料は参加確定後、2月12日（水）までにお振込みください。

## 18. 宿泊・昼食

各自で準備、負担願います。

## 19. 銃器・弾薬

(1)各自で準備、負担。銃砲所持許可証、日ラ会員証、射手手帳は必ず携行し提示すること。  
 省庁銃に関しては、所持許可証のかわりに所属長の発行する携帯証明書を持参すること。  
 (2)銃器・弾薬については各自携行のこと、運搬・携帯・保管については、特に留意すること。

## 20. 公式練習

特にありません。2月14日は射場使用料各自負担にて練習可能です。  
 当日射場受付か事前に射場に各自お申込とお支払いをお願いします。  
 ※終了後電子標的整備のため、練習時間は 9：00～15：00 とさせていただきます。

## 21. 大会責任者

大会委員長	松丸 喜一郎
競技委員長	田村 恒彦
テクニカル・デレゲート	佐々木 司

## 22. その他

(1)各加盟団体の責任者は、本要項を参加者に周知徹底させること。  
 (2)参加者は健康保険証を持参すること。  
 (3)本大会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます  
 (4)参加者の個人情報大会運営を円滑にする目的で、プログラムへの掲載や記録の掲示やHP掲載等に利用し、報道機関等へも公表することがあります。  
 肖像権に関して、主催・主管団体に認められた者によって撮影された競技会の様子は、広報活動の為、協会HP・YouTube・その他広報活動用に写真または動画が使用されることがありますので御了承ください。

エアピストル及びエアライフルのミックスチーム種目のルール

概 説	
1. 種別	ピストル及びライフル
2. 種目の種類	団体
3. 種目の名前	ピストルミックスチーム、ライフルミックスチーム
4. 各チームの構成人数	各国から2名（男子1名及び女子1名）
5. ステージの数	2ステージ <ul style="list-style-type: none"> <li>・本選（2パートより成る）</li> <li>・ファイナル（ブロンズメダルマッチ：3位決定戦及びシルバー/ゴールドメダルマッチ：優勝決定戦より構成される）</li> </ul>
6. 標的	電子標的（本選及びファイナル）
7. 射場	本選は本選射場 ファイナルはファイナル射場
8. 本選における同点	次のステージに進出する得点が同点の場合、ISSF ルール 6. 15 に従う
9. 本選における採点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピストル：X 圏を含む整数得点</li> <li>・ライフル：小数点採点</li> </ul>
10. 本選における故障	ISSF ルール 6. 13 に従って、処理される
11. 本選第1パート	発表された射座割に従って、選手は配置される 各チームのメンバーは並んで射撃をする 選手は開始時刻の15分前に射座に入る 各チームのメンバーの得点は合計され、チームの結果として順位付けされる 上位8位までのチームが本選第2パートへ進出する
12. 本選第1パートでの発数	準備及び試射時間：10分 各チームメンバーは30発（チーム合計60発）を30分で撃つ 各選手はおのおのが独立して射撃を行う
13. 本選第2パート	本選第1パートでの上位8チームはそのまま射座に残り、第2パートに備える 第1パートの終了から第2パートの準備および試射時間までは、抗議やRTS ジュリーによる標的チェックのため、10分間あけられるべきである 第2パートに進出できなかった選手はできるだけ早く用具を射座から運び出すべきである  射場長は第2パート開始時刻の5分前に「テイク ユア ポジション」の号令をかける。  本選第1パートの得点は第2パートには持ちこさない

	<p>全チームは0点からスタートする</p> <p>各チームのメンバーの得点は合計され、チームの結果として順位付けされる 上位4チームがファイナルに進出する</p> <p>1位と2位のチームがゴールドメダルマッチとして争い、3位と4位のチームがブロンズメダルマッチとして争う</p>
<p>14. 本選第2パートの発射弾数</p>	<p>準備および試射時間：3分 各チームメンバーは20発（チーム合計40発）を20分で撃つ 各選手はおのおのが独立して射撃を行う</p>
<p>15. ファイナル</p>	<p>ブロンズメダルマッチが先に行われ、ゴールドメダルマッチが引き続いて行われる メダルマッチではゼッケンは着用しない</p> <p>ファイナルに進出した8名の選手の出頭時刻は、ブロンズメダルマッチの開始時刻の30分前 遅刻に関してはISSFルール6.17.3.1及び2に従う</p> <p>ブロンズメダルマッチの選手またはコーチは、開始時刻の少なくとも15分前には決められた射座に用具を持ち込むことが許可されなければならない その後、射場長の号令がかかるまで、控室に戻り待ってなければならない バッグや箱を射場（FOP）に残しておくことはできない</p>
<p>16. ファイナルの様式</p>	<p>ブロンズメダルマッチでは、本選第2パートで3位となったチームがC及びD的に入り、4位となったチームがF及びG的に入る</p> <p>射場長はメダルマッチを以下の要領で運営する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロンズメダルマッチの開始時刻8分前に「アスリート トゥザ ライン」の号令をかける</li> <li>・選手が姿勢を整えるための1分間の後、「スリーミニッツ プレパレーション アンド サイティング タイム、 スタート」と号令する</li> <li>・2分30秒後「サーティセカンド」</li> <li>・3分後「ストップ」</li> </ul> <p>選手紹介 一個人のファイナルと同様に一 全選手の紹介が終わったら</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「テイク ユア ポジションズ」</li> </ul> <p>1分後</p>

	<p>・「フォーザファースト/ネクストコンペティション ショットロード（5秒）スタート」</p> <p>各チームメンバーは、1発を50秒以内に撃つ</p> <p>どちらの選手が先に撃ってもよい</p> <p>射場長は、全選手が撃ち終わったら「ストップ」と号令する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・撃発ごとにチームの合計得点が高いチームが獲得得点とともにアナウンスされる</li> <li>・この手順がメダルマッチの勝負がつくまで繰り返される</li> <li>・コーチまたは選手は撃発の結果を知らせるアナウンス中に手をあげることでタイムアウトを請求できる</li> </ul> <p>タイムアウトはメダルマッチ中に1回に限られる</p> <p>タイムアウトでは、コーチは射座内の選手（達）に近づき話しをすることができる</p> <p>タイムアウトの時間は30秒間である</p> <p>タイムアウトがかかった時、もう一方のチームのコーチも、そのタイムアウトの時間に、選手（達）に近づき話しをすることができる</p> <p>このことはタイムアウト要求権の行使に影響を与えない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間はジュリーが管理する</li> <li>・先に16ポイント以上を獲得したチームがメダルマッチを制する</li> </ul> <p>射場長は「ザリザルツアーファイナル」宣言し、ブロンズメダルマッチの勝利チームがアナウンスされる</p>
17. ファイナルの採点	<p>ライフル及びピストルのどちらにおいても、小数点採点を使用される</p> <p>撃発ごとに、合計得点の高かったチームが2ポイントを得る</p> <p>同点の場合は両チームが1点ずつを得る</p> <p>先に16ポイント以上を得たチームがメダルマッチの勝者として宣告される</p>
18. メダルマッチの同点	<p>両チームが同時に16ポイントに達した場合、メダルマッチは継続され、各選手1発（チーム合計2発）の追加射撃が行われる</p> <p>もし同点が続くなら、同点が破れるまで、号令に従って、追加射撃が継続される</p>
19. メダルマッチの交代	<p>ブロンズメダルマッチの終了後から少なくとも5分後、ブロンズメダルマッチの選手が射場を去り、RTSジュリーによる標的チェックが終わったら、射場長は「レンジクリアー」と宣言する</p> <p>ゴールド/シルバーメダルマッチの選手またはコーチは射座に用具を置くことを許可されなければならない</p> <p>その後、射場長の号令がかかるまで、控室に戻り待ってなければならない</p>

<p>20. ゴールド/シルバーメダルマッチ</p>	<p>本選第2パートで1位となったチームがC及びD的に入り、2位になったチームがF及びG的に入る</p> <p>ゴールド/シルバーメダルマッチにおける射場長の号令及び様式はブロンズメダルマッチと同様である</p> <p>勝利チームはゴールドメダリストとして宣言され、第2位のチームがシルバーメダリストとして宣言される</p>
<p>21. メダリストの紹介</p>	<p>ゴールドメダリストとシルバーメダリストは公式写真とアナウンスのために、ブロンズメダリストを加えて、一列に並ぶ</p>
<p>22. メダルマッチにおける故障</p>	<p>メダルマッチにおける故障は ISSF ルール 6.17.1.6 に従って処理される</p> <p>各チーム各メダルマッチで1回の故障が許される</p> <p>選手は、不必要な遅延を起こすことなくメダルマッチが継続されるように、故障した銃器を修理したり、交換するために1分間を与えられる</p>
<p>23. 罰則</p>	<p>本選において、「プレパレーション アンド サイティング タイム スタート」の号令前または「ストップ」の号令後の撃発は無効とし、本射1発目に2点の減点が科される</p> <p>ファイナルにおいて、「スタート」前または「ストップ」後の発射は0点として採点される</p> <p>その他の罰則は ISSF ルールに従って適用される</p>
<p>24. ナショナルアイデンティフィケーション、ドレスコード</p>	<p>各国からの選手は次のようにして射撃服にナショナルアイデンティフィケーションを示さなければならない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフル：I0C で用いられている各国の3文字略号を射撃ジャケットの観客側のポケットに提示する</li> </ul> <p>もしすでに射撃ジャケットに各国略号がついているならば、観客側のポケットには国旗がつけられるべきである</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピストル：I0C で用いられている各国の3文字略号をTシャツやスポーツジャケットの観客側の袖に提示する</li> </ul> <p>各チームの各人の観客側に国旗が提示されるべきである</p>
<p>25. 音楽及び応援</p>	<p>本選及びメダルマッチの競技中、音楽は許される</p> <p>TDは音楽プログラムを承認しなければならない</p> <p>メダルマッチにおける観客の熱狂的な応援は奨励され、推奨される</p>
<p>26. 不測の事態</p>	<p>上記で触れられていない事態は ISSF ゼネラルテクニカルルール 6.17 が適用される</p> <p>不測の事態または論議を伴う事態は各種目のゼネラルテクニカルルールに従ってジュリーによって裁可される</p>